

市民アンケート調査結果 【概要版】

1. 調査概要

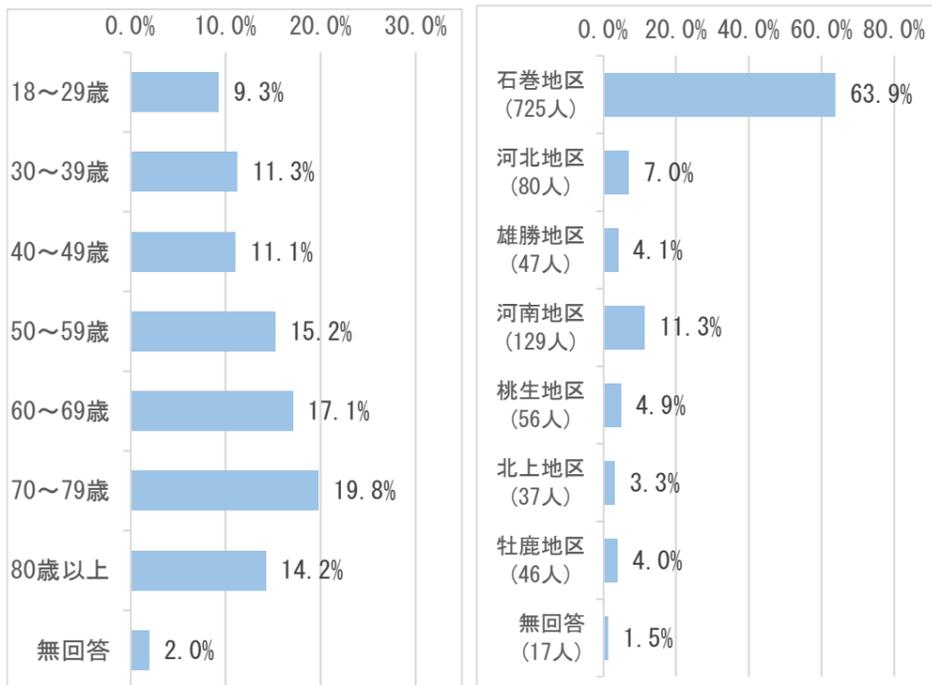
本調査は、令和3年度から令和12年度までの10年間のまちづくりの指針となる新たな総合計画の策定にあたり、石巻市での暮らしやニーズの傾向を把握し、まちづくりに対する課題を抽出・分析することを目的とし、石巻市に居住する18歳以上の市民を対象としたアンケート調査を実施しました。

内容	市民アンケート
目的	石巻市での暮らしやニーズの傾向を把握し、まちづくりに対する課題を抽出・分析することを目的とする
対象者	石巻市に居住する18歳以上の市民
配布数	3,000人
回収結果 (回収率)	1,137人 (37.9%)
抽出方法	無作為抽出
調査期間	令和元年11月18日(月)～12月6日(金)
調査方法	郵送による配布・回収

※SA(単一回答)、MA(複数回答)

2. 回答者属性

年齢(SA) N=1,137 居住地区(SA) N=1,137

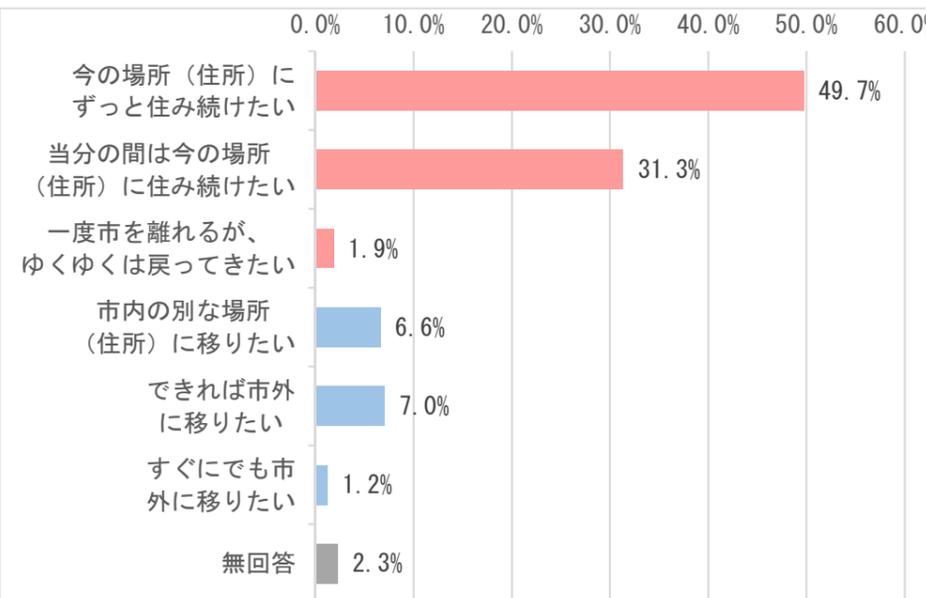
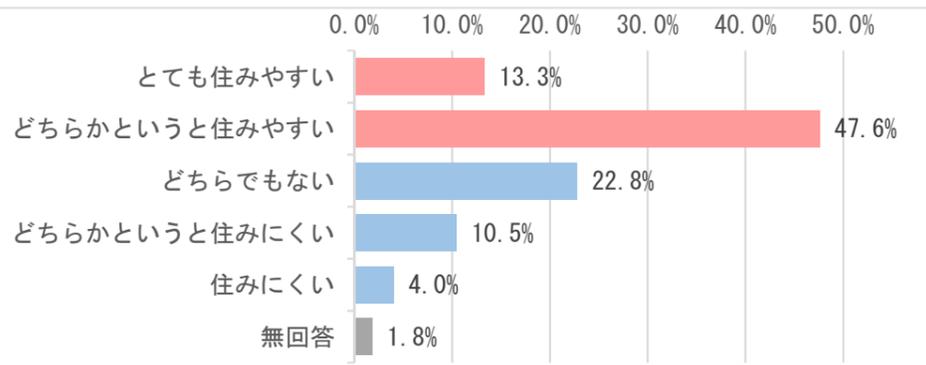


・地区別回答数については、石巻地区で全体の6割、そのほかの地区で4割 石巻地区以外の地区からは最低限30以上の回答が得られた。

3. 住みやすさ・居住継続意向

住みやすさ(SA) N=1,137

居住継続意向(SA) N=1,137



住み続けたい理由(MA) N=942

※回答の1割以上を占める項目を掲載。

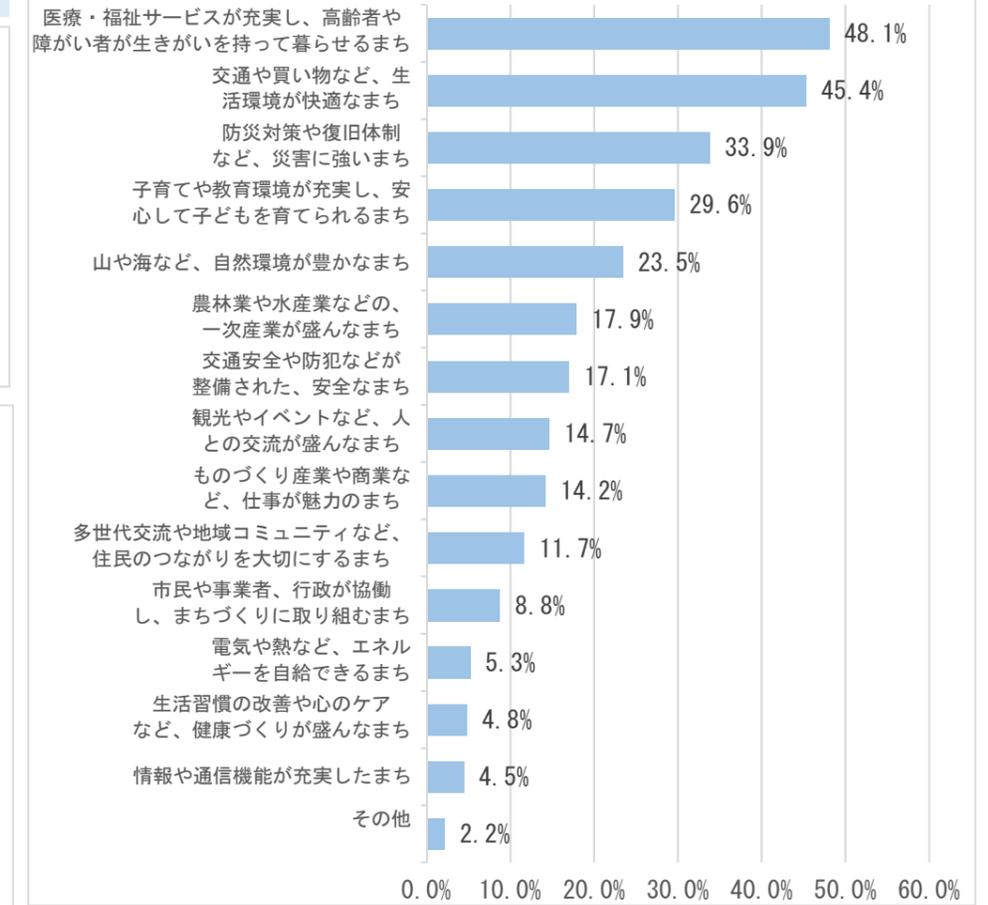
理由	人数	割合
住み慣れていて愛着があるから	584	62.0%
地元だから	534	56.7%
地域の人たちとのつながりがあるから	265	28.1%
居住環境(買物や遊びの便)がよいから	144	15.3%
自然環境が豊かだから	141	15.0%
食べ物がおいしいから	137	14.5%
災害が少ない、または災害に強いから	130	13.8%
交通の便が良いから	106	11.3%

・「とても住みやすい」、「どちらかというに住みやすい」と回答した方が、全体の6割を占めている。
 ・居住継続意向がある方が、全体の約8割を占めている。
 ・住み続けたい理由としては、石巻市への愛着や地元であることが大きな理由として挙がっている。次いで、人とのつながりや居住環境(買物や遊びの便)などが重要な要素となっている。

4. 10年後の石巻市

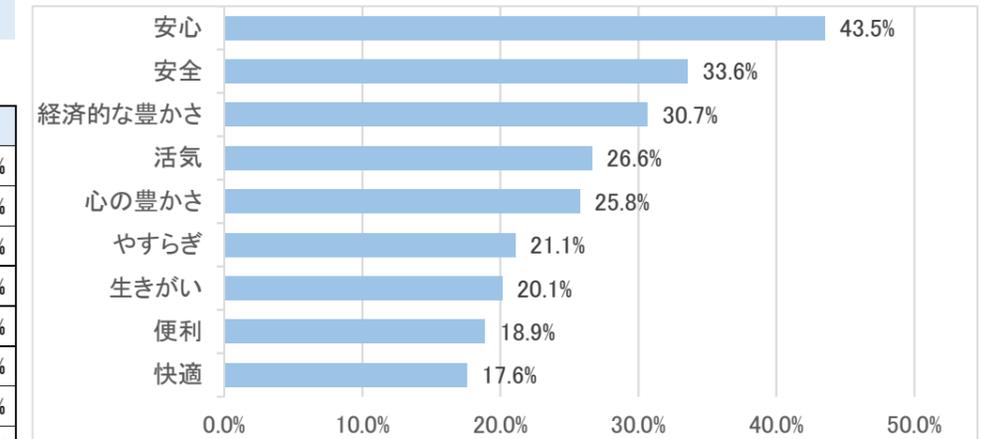
資料3

10年後の将来、なっていてほしいまち(MA) N=1,137



将来像へのキーワード(MA) N=1,137

※回答の1割以上を占める項目を掲載。



・10年後の石巻市について、「医療・福祉サービスの充実」や「交通・買い物などの生活環境の快適さ」が求められている。
 ・将来像へのキーワードとしては、「安心」が最も回答割合が高くなっている。次いで、「安全」、「経済的な豊かさ」、「活気」、「心の豊かさ」などが挙げられている。

5. 市の取り組みに対する満足度・重要度

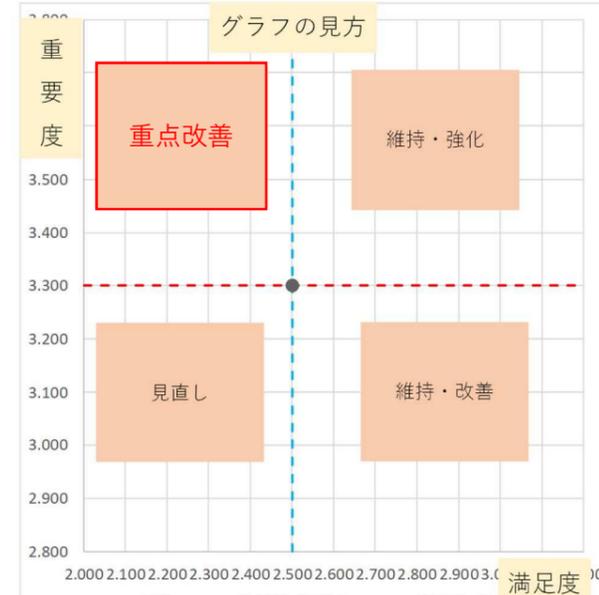
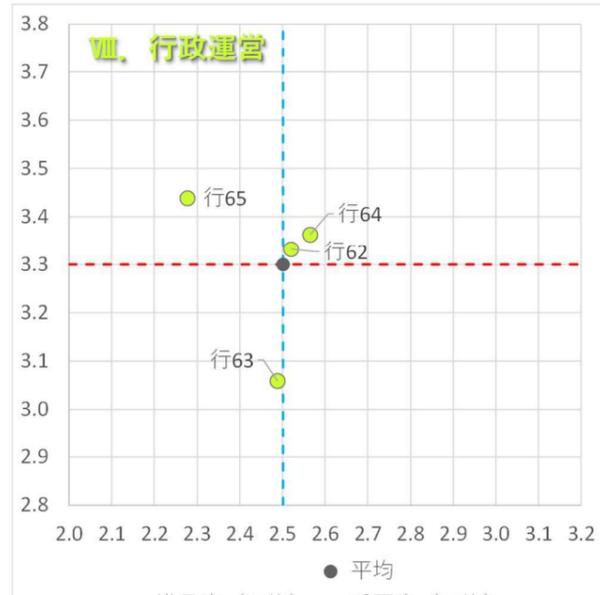
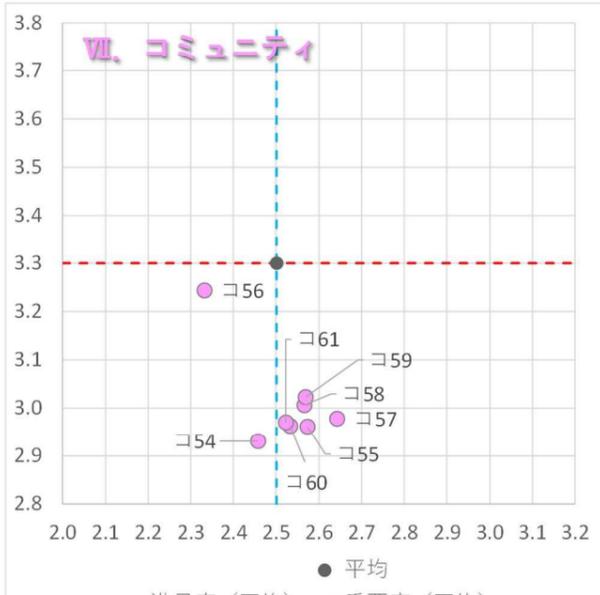
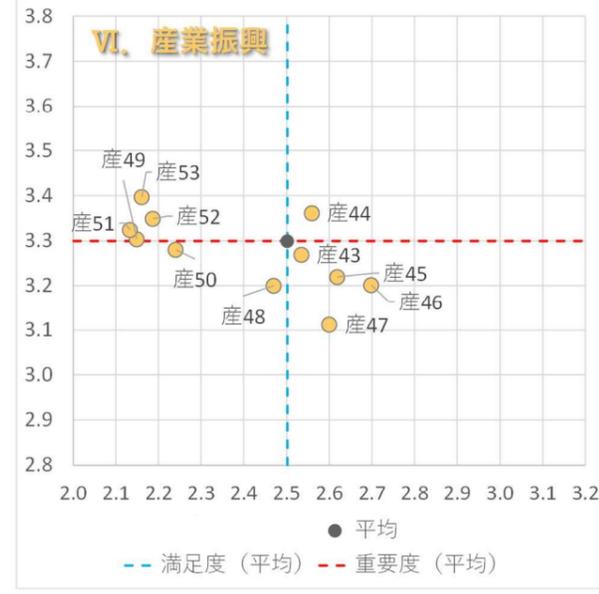
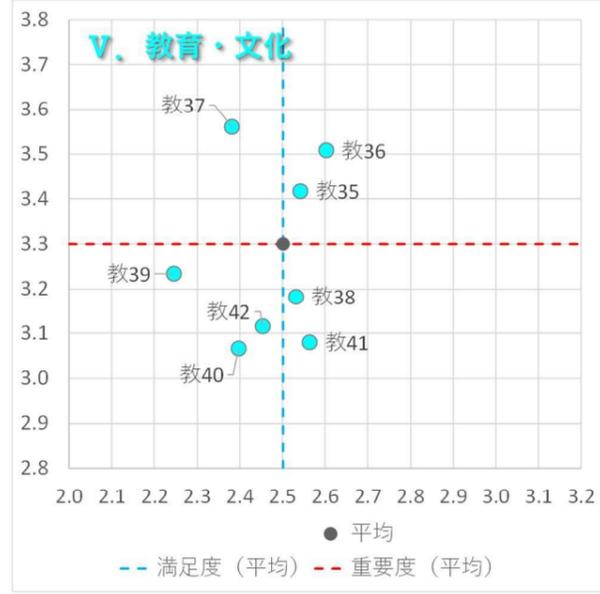
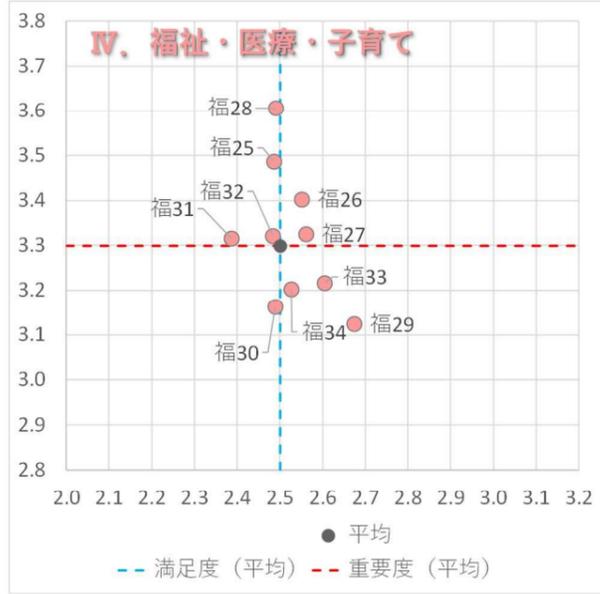
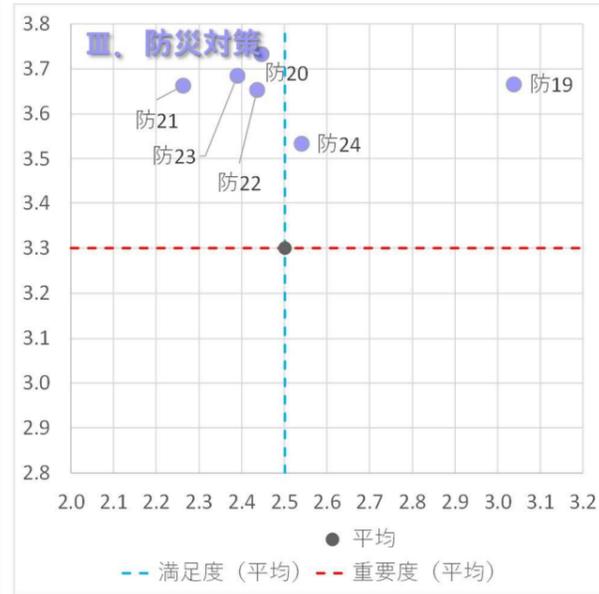
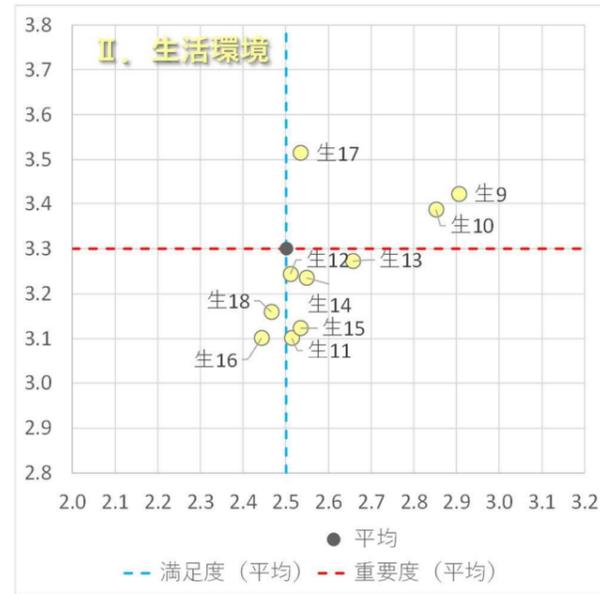
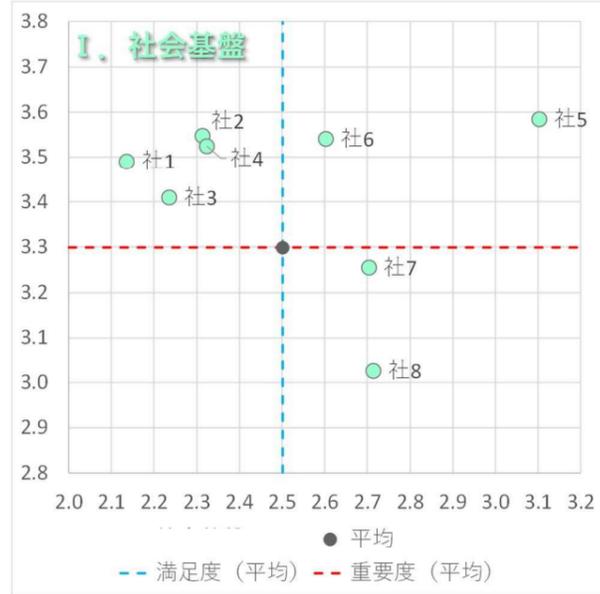
【CS分析】

「CS」(Customer Satisfactionの略)とは「顧客満足」という意味で、満足を感じさせるには、どの要素の改善に力を入れるべきか探るのがCS分析である。

今回のアンケート調査では、市民が石巻市での生活を満足と感じてもらうためには、どのような取組に力を入れるべきかを探るための手法として、各取組への“現在の満足度”と“将来の重要度”をそれぞれ評価してもらい、その平均点を算出し分析を行った。

分野	項目	満足度	重要度	分類	ラベル
I. 社会基盤	1 公共交通ネットワークの整備	2.137	3.491	重点改善	社1
	2 幹線道路・生活道路など道路の整備	2.313	3.548	重点改善	社2
	3 歩道の整備	2.235	3.410	重点改善	社3
	4 河川・水路の整備	2.324	3.525	重点改善	社4
	5 安心して飲める上水道の整備	3.103	3.585	維持・強化	社5
	6 排水処理などの下水道の整備	2.602	3.541	維持・強化	社6
	7 住まいの再建・整備	2.704	3.255	維持・改善	社7
	8 建て替えや新設など公営住宅の整備	2.714	3.026	維持・改善	社8
II. 生活環境	9 ごみ収集や処理、減量化などのごみ対策	2.905	3.422	維持・強化	生9
	10 東日本大震災時の災害廃棄物の処理	2.852	3.387	維持・強化	生10
	11 公園や広場の整備	2.515	3.101	維持・改善	生11
	12 森林や河川、海などの自然環境の保全・活用	2.511	3.243	維持・改善	生12
	13 騒音や振動、悪臭などの公害対策	2.657	3.273	維持・改善	生13
	14 地球環境に配慮した省エネ対策	2.549	3.236	維持・改善	生14
	15 太陽光やバイオマスなどの再生エネルギーの活用	2.534	3.124	維持・改善	生15
	16 街並みや景観の整備	2.443	3.102	見直し	生16
	17 交通安全や防犯などの安全対策	2.534	3.514	維持・強化	生17
	18 インターネットやWiFiなどの情報通信基盤の整備	2.466	3.160	見直し	生18
III. 防災対策	19 消防・救急体制の整備	3.038	3.665	維持・強化	防19
	20 地震や水害に対する防災体制づくり	2.447	3.732	重点改善	防20
	21 女川原子力発電所の安全対策・情報公開	2.264	3.662	重点改善	防21
	22 ライフラインの復旧や食糧確保などの早期対応	2.437	3.653	重点改善	防22
	23 災害発生時の応急体制の構築	2.391	3.685	重点改善	防23
	24 防災知識の普及や防災教育の充実などの地域防災力の向上	2.540	3.533	維持・強化	防24
	IV. 福祉・医療・子育て	25 高齢者・障がい者への福祉サービスの質の向上	2.487	3.487	重点改善
26 保育所の整備・充実		2.552	3.403	維持・強化	福26
27 育児相談やワークライフバランスの充実などの子育て支援		2.561	3.325	維持・強化	福27
28 病院、診療所など、医療施設の整備		2.491	3.607	重点改善	福28
29 生活習慣予防や食育など健康づくりの取り組み		2.674	3.124	維持・改善	福29
30 生活困窮者への自立支援・情報提供		2.489	3.163	見直し	福30
31 地域福祉を担う人材の確保・育成		2.387	3.316	重点改善	福31
32 地域での見守り体制・子育て機能の充実		2.484	3.322	重点改善	福32
33 地域包括ケア体制の推進		2.605	3.217	維持・改善	福33
34 震災後の環境変化やストレス等へのケア		2.527	3.202	維持・改善	福34
V. 教育・文化	35 学校設備や教材等の学習環境の質の向上	2.542	3.417	維持・強化	教35
	36 子どもの健全な心身の育成	2.603	3.507	維持・強化	教36
	37 教員の質の向上	2.382	3.560	重点改善	教37
	38 地域と連携した学習機会の提供	2.532	3.182	維持・改善	教38
	39 図書館、文化ホールなどの整備・充実	2.246	3.233	見直し	教39
	40 スポーツ・レクリエーションなどが出来る機会の提供	2.397	3.066	見直し	教40
	41 地域の文化、伝統継承への取り組み	2.564	3.079	維持・改善	教41
	42 国際理解や情報・環境教育など現代社会に対応した教育の推進	2.453	3.115	見直し	教42
VI. 産業振興	43 農林業の振興	2.535	3.269	維持・改善	産43
	44 水産業の振興	2.559	3.361	維持・強化	産44
	45 農地や用水路などの農地基盤の整備	2.619	3.219	維持・改善	産45
	46 漁港や水産加工所などの施設整備	2.699	3.202	維持・改善	産46
	47 農林水産物のブランド化	2.601	3.112	維持・改善	産47
	48 商工業の振興	2.470	3.200	見直し	産48
	49 中心市街地の活性化	2.149	3.303	重点改善	産49
	50 観光の振興	2.241	3.280	見直し	産50
	51 企業誘致や新たな産業創出	2.134	3.324	重点改善	産51
	52 販路拡大や人材確保など地元企業の育成	2.187	3.349	重点改善	産52
	53 多様な働き手の就業支援や就業環境の整備	2.162	3.396	重点改善	産53
VII. コミュニティ	54 国際交流の推進など国際化への対応	2.458	2.931	見直し	コ54
	55 行祭事、イベントなど交流機会の充実	2.573	2.961	維持・改善	コ55
	56 身近に買い物や飲食が楽しめる環境の充実	2.332	3.243	見直し	コ56
	57 NPO活動、ボランティア活動などの支援	2.643	2.978	維持・改善	コ57
	58 ボランティアをはじめとした市外からの来訪者の受入環境の整備	2.566	3.006	維持・改善	コ58
	59 コミュニティ(地域自治)活動の充実	2.569	3.023	維持・改善	コ59
	60 新たなコミュニティでの生活支援	2.533	2.963	維持・改善	コ60
VIII. 行政運営	61 男女共同参画の社会づくり	2.522	2.970	維持・改善	コ61
	62 石巻市政の情報公開	2.521	3.332	維持・強化	行62
	63 フェイスブックなどのSNSを活用した石巻市の取り組みの発信	2.488	3.059	見直し	行63
	64 市役所の窓口サービス	2.565	3.363	維持・強化	行64
	65 行政運営や財政運営の効率化	2.278	3.439	重点改善	行65

平均点 = {(4 × 「満足している」または「重要である」) + (3 × 「どちらかといえば満足している」または「どちらかといえば重要である」) + (2 × 「どちらかといえば不満である」または「どちらかといえば重要ではない」) + (1 × 「不満である」または「重要ではない」)} / 回答者数



転入者アンケート調査結果 【概要版】

1. 調査概要

本調査は、令和3年度から令和12年度までの10年間のまちづくりの指針となる新たな総合計画の策定にあたり、石巻市への転入のきっかけや石巻の魅力などを把握し、移住定住の促進や関係人口拡大に向けた課題を抽出・分析することを目的とし、過去過去3年間で石巻市に転入した18歳以上の市民を対象としたアンケート調査を実施しました。

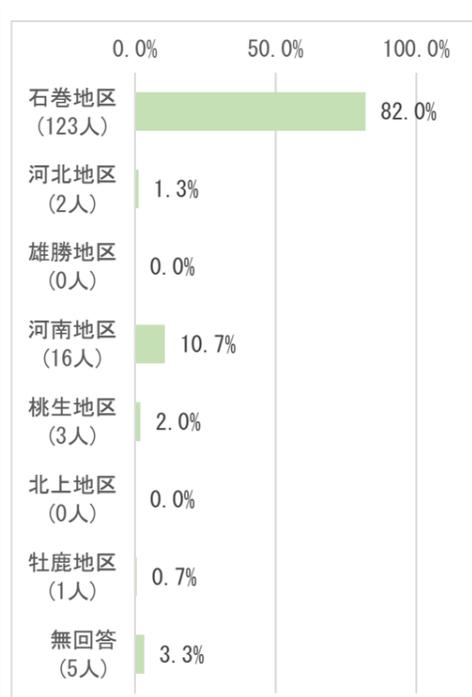
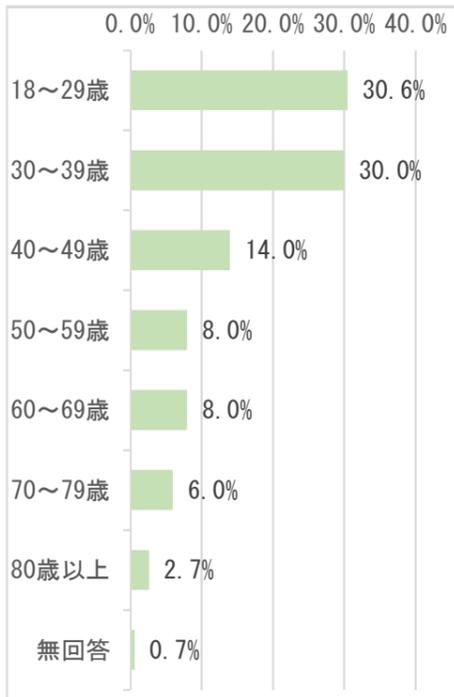
内容	転入者アンケート
目的	石巻市への転入のきっかけや石巻の魅力などを把握し、移住定住の促進や関係人口拡大に向けた課題を抽出・分析することを目的とする
対象者	過去3年間で石巻市に転入した18歳以上の市民
配布数	500人
回収結果 (回収率)	150人 (30.0%)
抽出方法	無作為抽出
調査期間	令和元年11月18日(月)～12月6日(金)
調査方法	郵送による配布・回収

※SA(単一回答)、MA(複数回答)

2. 回答者属性

年齢(SA) N=150

居住地区(SA) N=150

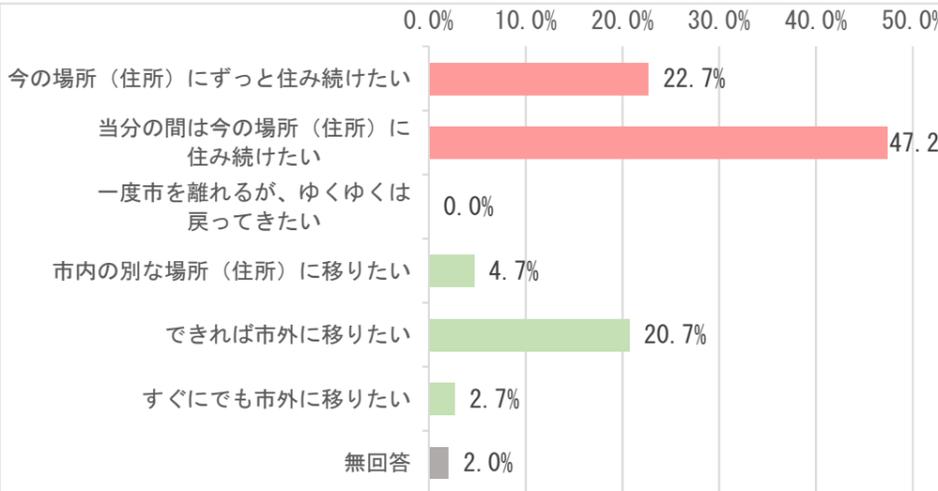
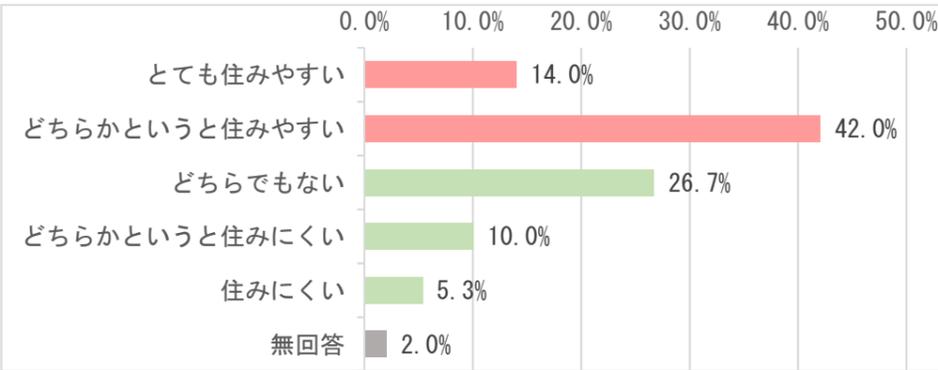


- ・20、30歳代の回答が多く、約6割を占めている。
- ・ほとんどが石巻地区に転入してきた方の回答となった。

3. 住みやすさ・居住継続意向

住みやすさ(SA) N=150

居住継続意向(SA) N=150



移り住みたい理由(MA) N=42

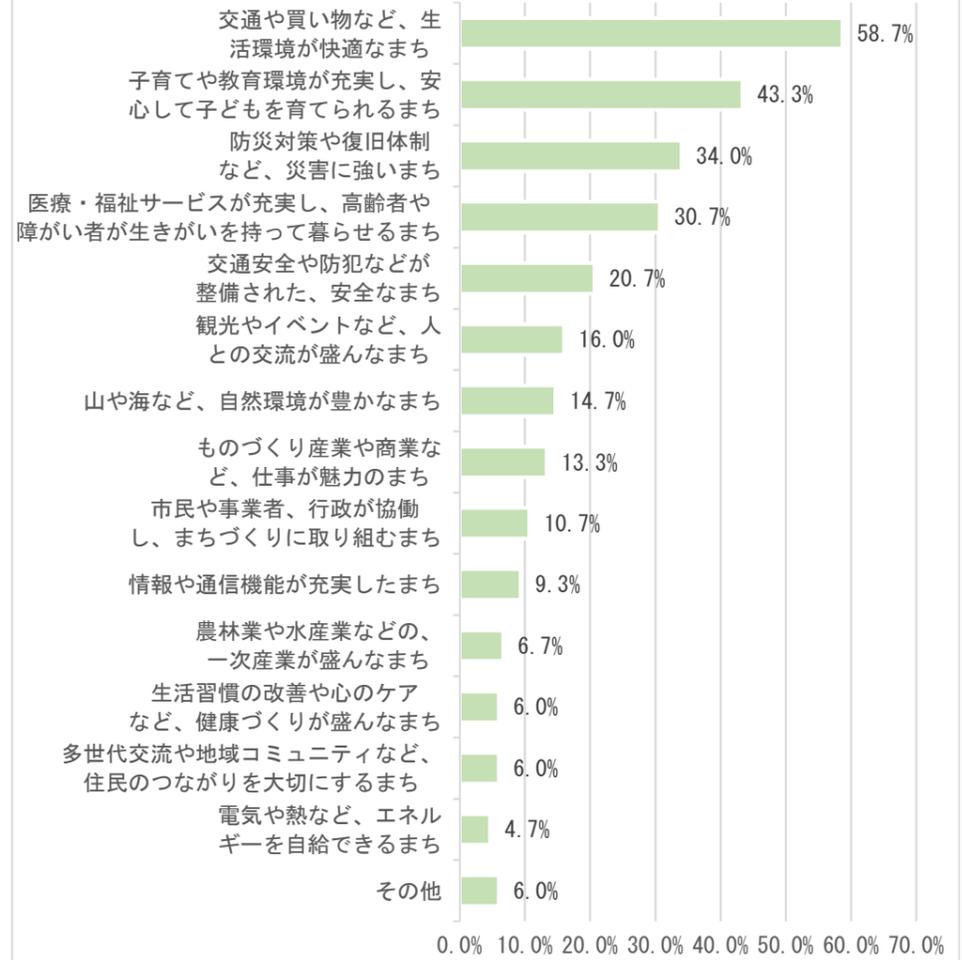
※回答の1割以上を占める項目を掲載。

移り住みたい理由	人数	割合
交通の便が悪いから	21	50.0%
地元ではないから	20	47.6%
居住環境(買物や遊びの便)が悪いから	17	40.5%
災害が多い、または災害に弱いから	8	19.0%
やりたい仕事がないから	8	19.0%
道路環境の整備が不十分だから	7	16.7%
住み慣れておらず愛着がないから	6	14.3%
その他	9	21.4%

- ・住みやすさについては、市民アンケートと各項目の割合が類似しており、「とても住みやすい」、「どちらかという住みやすい」と回答した方が、全体の約6割を占めている。
- ・居住継続意向については、市民アンケートと比較すると、「できれば市外に移り住みたい」の割合が約3倍となっている。
- ・移り住みたい理由としては、「交通の便」や「地元ではないこと」、「居住環境が悪いこと」が主な理由として挙げられている。

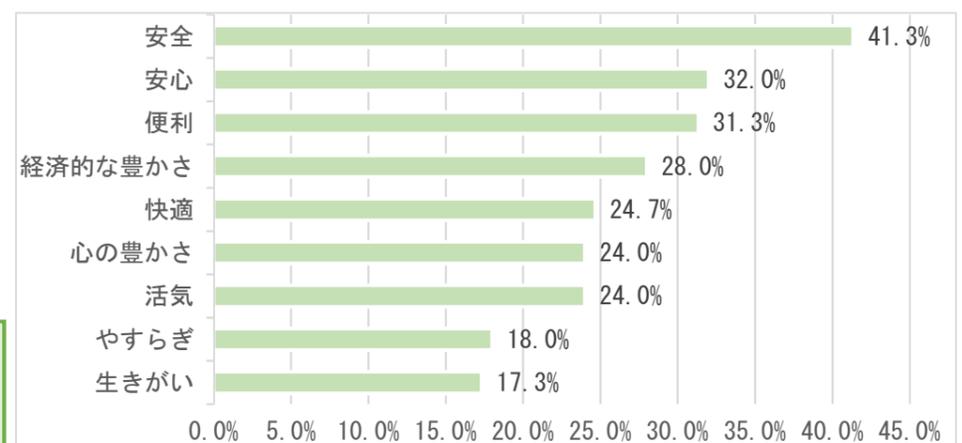
4. 10年後の石巻市

10年後の将来、なっていてほしいまち(MA) N=150



将来像へのキーワード(MA) N=150

※回答の1割以上を占める項目を掲載。

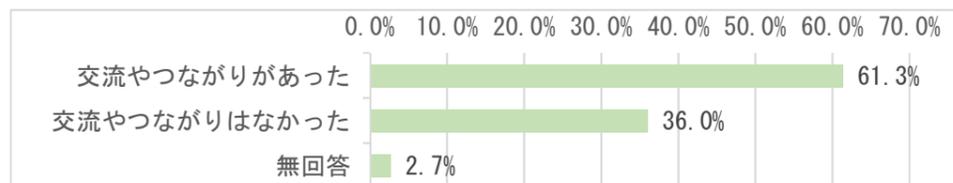
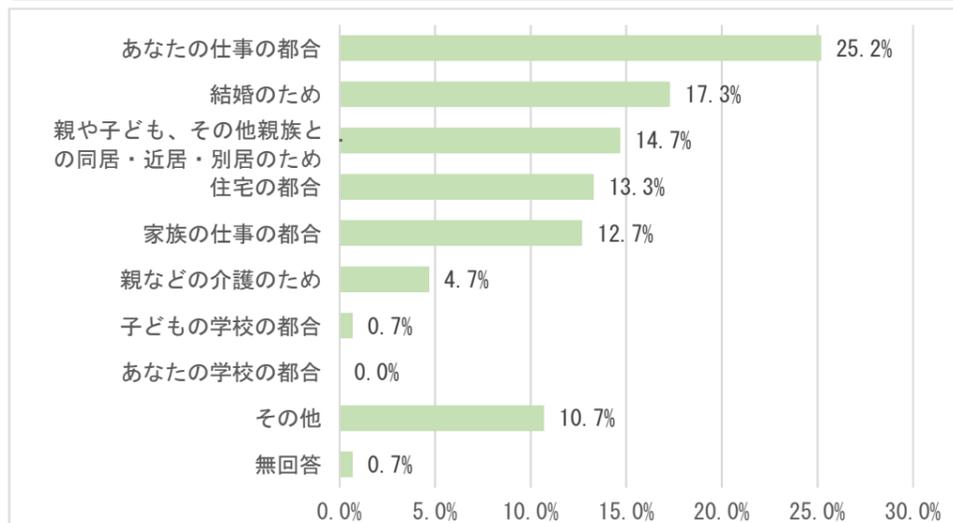


- ・10年後の石巻市について、「交通・買い物などの生活環境の快適さ」や「子育て環境の充実」が求められている。
- ・将来像へのキーワードとしては、「安全」が最も回答割合が高くなっている。次いで、「安心」、「便利」、「経済的な豊かさ」、「快適」などが挙げられている。

5. 転入のきっかけ

転入のきっかけ (SA) N=150

転入前のつながり (SA) N=150



石巻市とのつながり (SA) N=92

つながり	人数	割合
石巻市に家族や親せきが住んでいた	58	63.1%
石巻市に知人・友人が住んでいた	11	12.0%
知人や友人等に紹介され、石巻市を訪れた	2	2.2%
地域活動やボランティア等をきっかけに地域と交流するようになった	2	2.2%
その他	16	17.3%
無回答	3	3.2%
総数	92	100.0%

その他の回答として、以下のようなものがあった。

- ・学校
- ・買物に来ていた
- ・職場が石巻市内だった
- ・以前石巻市に住んでいた
- ・出身のため
- ・地元に戻ってきた
- ・前職で会社仲間がいた
- ・生まれも育ちも石巻です
- ・震災時にボランティアで訪れた
- ・震災前に住んでいた
- ・元々住んでいた地域で、戻りたいと思ったから
- ・石巻市で育ってきて、結婚を機に東松島市へ移ったが同居するため再び石巻市へ
- ・以前持ち家で石巻に住んでいた。家が古くなったので売却し借家を借りた。でも、やはり自分の家に住みたいと思い現在の家を購入した

- ・転入のきっかけは「仕事」や「結婚」、「親や子ども、親族との同居・近居・別居」が主な理由として挙がっている。
- ・転入者の6割が、「石巻市に家族や親せきがいる」こと、1割程度が「知人や友人が住んでいる」ことが明らかとなった。知り合いがいることが転入の際には、情報収集や転入してからの生活への安心感が得られることなどが理由として考えられる。

市民・転入者アンケート調査結果【総括】

【住みやすさ・居住継続意向】

- ・「住みやすさ」については、市民・転入者ともに、約6割が「とても住みやすい」「どちらかというと住みやすい」と回答しており、市民と転入者の間で大きな差はみられなかった。市民アンケートについては、居住年数が「20年以上」の回答割合が多かったことから、石巻市に住み続けている市民と、近年転入してきた市民との意識の差は大きくない。
- ・しかしながら、「居住継続意向」についてみると、市民アンケートでは、「今の場所（住所）にずっと住み続けたい」が約5割、「当分の間は今の場所（住所）に住み続けたい」が3割となっているが、転入者アンケートでは前者が約2割、後者が約5割となっている。さらに、「できれば市外に移りたい」の回答割合は、転入者の方が約3倍高い結果となった。
- ・「石巻市に住み続ける理由」としては、「地元であること」や「住み慣れていて愛着がある」、「人とのつながり」が重視されている。

【市の取組への評価】

- ・「市の取組に対する満足度・重要度」について、重点改善（満足度が低く重要度が高い）取り組みとして、以下があげられる。
 - 社会基盤：「公共交通ネットワークの整備」「幹線道路・生活道路などの整備」「歩道の整備」「河川・水路の整備」
 - 生活環境：なし
 - 防災対策：「地震や水害に対する防災体制づくり」「女川原子力発電所の安全対策・情報公開」「ライフラインの復旧や食糧確保などの早期対応」「災害発生時の応急体制の構築」
 - 福祉・医療・子育て：「高齢者・障がい者への福祉サービスの質の向上」「病院、診療所など、医療施設の整備」「地域福祉を担う人材の確保・育成」「地域での見守り体制・子育て機能の充実」
 - 教育・文化：「教員の質の向上」
 - 産業振興：「中心市街地の活性化」「企業誘致や新たな産業創出」「販路拡大や人材確保などの地元企業の育成」「多様な働き手の就業支援や就業環境の整備」
 - コミュニティ：なし
 - 行政運営：「行政運営や財政運営の効率化」

【将来像・キーワード】

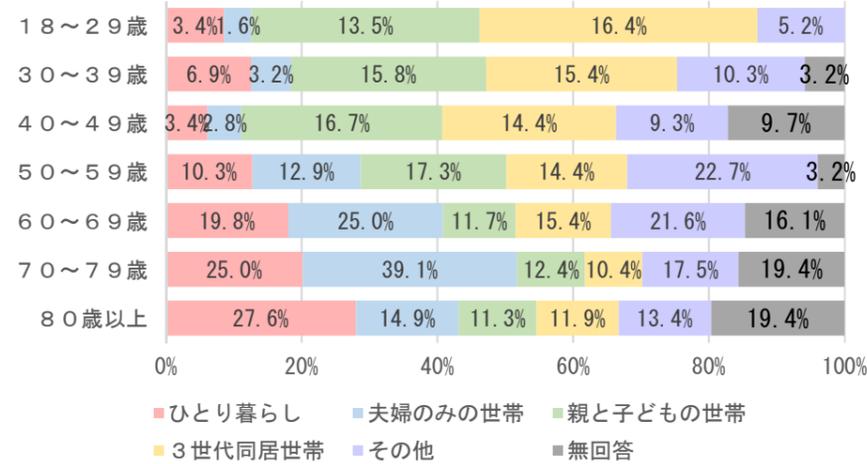
- ・「10年後の将来、なっていてほしいまち」としては、交通や買い物などの生活環境が快適であることや、医療・福祉や子育て環境の充実、災害に強いまちなどの要素が求められている。
- ・将来像へのキーワードとしては、市民・転入者アンケートともに「安全」「安心」「経済的な豊かさ」の回答割合が高い。そのほかの項目について、市民アンケートでは「活気」や「心の豊かさ」、「やすらぎ」が重要視される一方、転入者アンケートでは「便利」「快適」が重要視されている。

【アンケート調査結果から見えてくる課題】

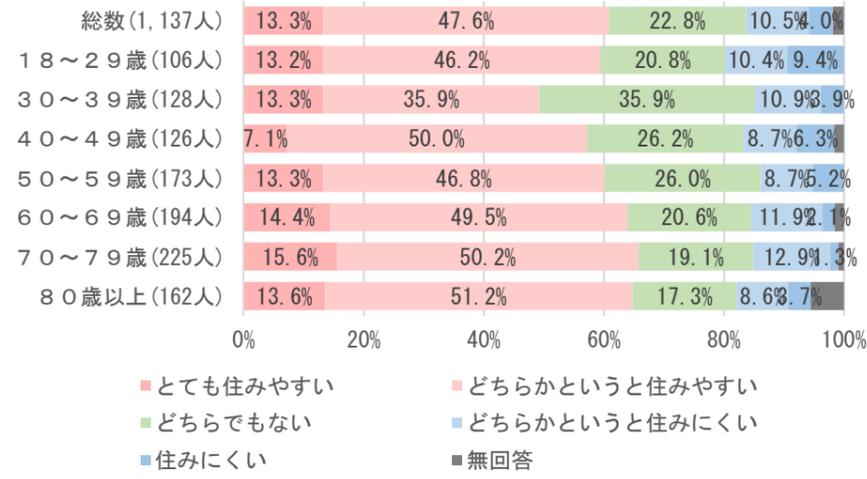
- ・今後、より一層市民が「住みやすい」と感じられるまちづくりが求められる。そのためには、「交通や買い物など、生活環境の快適性」や「医療・福祉・子育て環境の充実」、「災害に強いまちづくり」が求められる。
- ・居住継続意向について、市民・転入者アンケートともに、若い層ほど住み続けたいと考える方の割合が低く、若い層が住み続けたいと考える取組が求められる。
- ・転入者の多くが本市に親族や友人・知人がいることがわかった。しかし、「市外に移りたい」と考える転入者が多い状況であり、仕事や家族との同居等、受動的なきっかけで転入された方も含め、転入者がより住みやすい・住み続けたい環境づくりが求められると考えられる。
- ・「石巻市に知人・友人が住んでいた」転入が約1割となっている。今後は、さらに石巻市民との関係・つながりを持っている市外居住者の転入や、継続的な石巻市との関わりを持つための取組も重要である。
- ・将来像を考える上では、「安全」「安心」が最も重要視されるキーワードとなった。さらに、石巻市に住み続けている市民には「活気」や「心の豊かさ」、「やすらぎ」、一方で転入者には「便利」や「快適」というキーワードがポイントとなる。

【参考分析：クロス集計（市民アンケートのみ）】

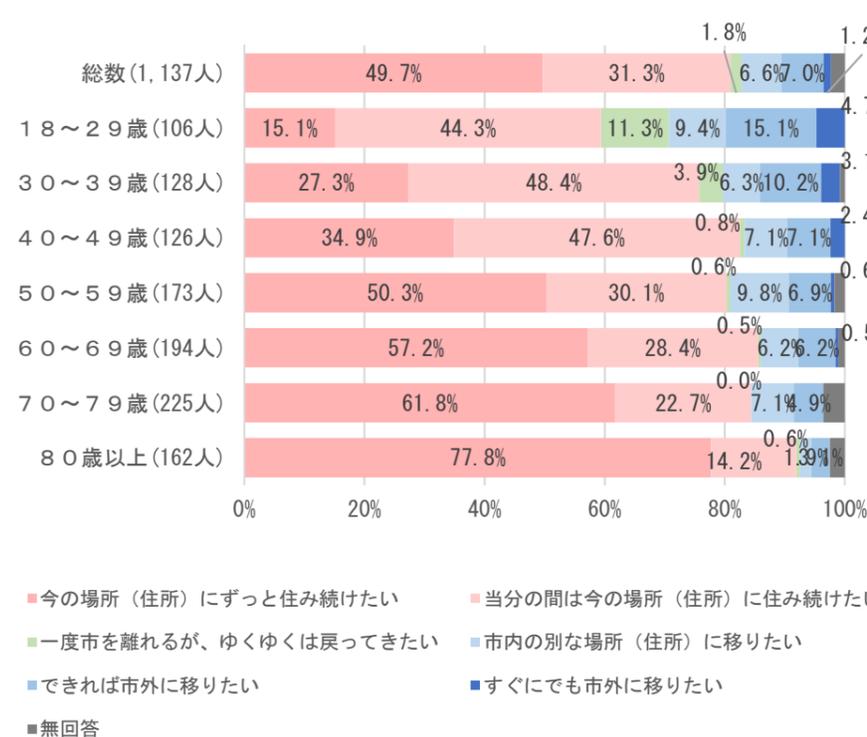
世帯構成



住みやすさ



居住継続意向



10年後の将来を考える時、大切にしたいキーワードは何ですか。

	やすらぎ	活気	にぎやか	調和	共生	快適	心の豊かさ	経済的な豊かさ	チャレンジ	便利	安全	安心	生きがい	誇り	継承	輝き	協働	楽しさ	ふれあい	郷土愛	その他	無回答
男性	20.3%	28.8%	4.7%	5.1%	6.6%	19.0%	25.0%	29.7%	2.5%	19.6%	32.9%	38.3%	18.4%	2.5%	1.6%	3.8%	4.1%	9.5%	5.4%	7.6%	0.9%	3.5%
女性	20.0%	26.0%	1.4%	5.8%	5.3%	18.1%	27.2%	29.8%	2.8%	22.1%	36.3%	47.2%	16.5%	2.3%	3.7%	2.6%	2.1%	5.8%	5.8%	4.9%	0.7%	3.3%
18～29歳	14.2%	32.1%	6.6%	2.8%	4.7%	27.4%	24.5%	27.4%	2.8%	31.1%	36.8%	41.5%	8.5%	5.7%	3.8%	7.5%	0.9%	8.5%	4.7%	3.8%	1.9%	0.9%
30～39歳	14.1%	25.0%	5.5%	3.1%	5.5%	17.2%	26.6%	33.6%	5.5%	21.1%	40.6%	42.2%	10.2%	1.6%	3.1%	5.5%	0.0%	10.2%	6.3%	6.3%	0.0%	3.1%
40～49歳	21.4%	27.0%	2.4%	7.9%	7.1%	23.0%	19.0%	36.5%	1.6%	23.0%	46.0%	41.3%	7.9%	1.6%	3.2%	0.8%	4.8%	7.9%	5.6%	3.2%	0.8%	1.6%
50～59歳	23.7%	31.2%	1.2%	6.9%	6.9%	21.4%	27.2%	27.7%	1.7%	15.0%	31.2%	49.1%	19.7%	1.2%	1.7%	3.5%	1.7%	5.2%	3.5%	6.4%	0.6%	4.0%
60～69歳	21.6%	20.1%	1.5%	4.6%	4.6%	17.5%	27.3%	27.8%	3.1%	17.0%	40.2%	53.1%	21.6%	1.0%	2.1%	3.6%	3.6%	5.2%	7.7%	5.7%	1.5%	1.5%
70～79歳	21.3%	26.2%	1.8%	9.3%	3.6%	12.0%	28.4%	30.2%	3.6%	18.2%	26.7%	40.0%	30.7%	3.1%	1.8%	0.9%	4.4%	8.0%	5.3%	5.3%	0.9%	4.9%
80歳以上	27.8%	26.5%	4.3%	3.1%	8.0%	11.7%	24.7%	32.7%	1.9%	13.6%	22.8%	36.4%	29.6%	2.5%	3.1%	0.6%	1.2%	4.3%	11.7%	6.8%	0.0%	6.8%
ひとり暮らし	26.7%	27.6%	5.2%	4.3%	6.9%	10.3%	31.0%	25.9%	4.3%	17.2%	25.9%	41.4%	21.6%	4.3%	0.9%	1.7%	1.7%	3.4%	7.8%	6.0%	0.9%	6.0%
夫婦のみの世帯	24.2%	29.8%	2.0%	6.0%	5.6%	16.1%	20.2%	32.7%	2.4%	21.0%	27.4%	44.0%	28.6%	3.2%	1.6%	0.0%	3.2%	7.7%	6.5%	6.0%	0.4%	2.8%
親と子どもの世帯	20.7%	24.1%	2.9%	6.5%	5.4%	22.5%	26.6%	28.2%	2.7%	19.8%	38.1%	44.1%	14.4%	1.6%	3.2%	3.4%	1.8%	7.9%	6.5%	4.5%	1.4%	3.6%
3世代同居世帯	15.9%	30.8%	3.5%	5.5%	4.5%	16.4%	24.9%	34.3%	3.5%	17.4%	37.8%	41.8%	19.4%	2.0%	3.5%	6.5%	3.5%	6.5%	5.0%	8.0%	0.0%	2.5%

10年後の将来、どんなまちになってほしいと思いますか。

	環境や海など、自然	農林業や水産など、まち	ものづくり産業や商業	観光や交流イベントなど、まち	交通や環境が快適なまち	防災・対策や復旧体制	整備された安全なまち	交通や環境が快適なまち	電気や自給など、エネ	高齢者や福祉サービスが充実するまち	子育てや教育環境が充実するまち	心育や健康づくりが盛んなまち	生活習慣の改善や心のケア	世代交流や地域コミュニティ	多世代など、住民のつながり	情報や通信機能	市民や事業者、行政が協働するまち	その他	無回答
男性	28.8%	21.2%	17.1%	15.8%	45.6%	32.9%	17.7%	8.5%	37.0%	28.8%	4.4%	9.8%	7.0%	10.1%	3.5%	2.8%			
女性	17.9%	17.0%	12.1%	15.8%	47.0%	36.0%	19.1%	3.5%	52.8%	33.3%	5.1%	10.9%	3.0%	8.1%	1.9%	4.4%			
18～29歳	28.3%	17.0%	11.3%	22.6%	54.7%	36.8%	18.9%	3.8%	26.4%	47.2%	3.8%	3.8%	10.4%	5.7%	3.8%	0.9%			
30～39歳	21.9%	14.8%	21.1%	21.1%	38.3%	28.9%	20.3%	6.3%	24.2%	52.3%	3.1%	9.4%	8.6%	6.3%	3.9%	4.7%			
40～49歳	14.3%	11.9%	18.3%	19.8%	50.8%	40.5%	22.2%	7.1%	36.5%	35.7%	5.6%	7.1%	4.8%	10.3%	4.0%	2.4%			
50～59歳	21.4%	20.8%	16.8%	16.8%	42.2%	35.3%	12.1%	7.5%	52.0%	28.3%	3.5%	11.0%	2.3%	11.6%	3.5%	4.0%			
60～69歳	23.2%	18.0%	10.3%	10.8%	45.9%	37.6%	21.6%	5.2%	59.8%	24.7%	4.1%	13.4%	5.7%	8.8%	1.5%	1.5%			
70～79歳	23.6%	20.4%	11.6%	9.3%	45.8%	31.6%	13.8%	4.0%	58.2%	20.9%	7.6%	15.6%	2.2%	8.4%	0.4%	7.6%			
80歳以上	29.6%	20.4%	13.0%	11.1%	45.1%	28.4%	14.2%	3.1%	60.5%	16.7%	4.3%	14.8%	1.2%	9.3%	0.6%	8.0%			
ひとり暮らし	31.9%	23.3%	12.1%	10.3%	40.5%	31.0%	18.1%	3.4%	46.6%	15.5%	8.6%	16.4%	4.3%	8.6%	3.4%	5.2%			
夫婦のみの世帯	26.2%	18.5%	13.3%	12.5%	50.8%	24.6%	15.7%	3.6%	56.9%	23.0%	7.3%	13.7%	3.2%	11.3%	1.2%	5.6%			
親と子どもの世帯	22.3%	14.6%	16.0%	18.9%	42.1%	36.5%	18.5%	6.5%	42.8%	35.1%	2.7%	9.7%	5.9%	8.6%	2.5%	4.7%			
3世代同居世帯	20.9%	15.9%	14.4%	13.9%	48.8%	38.8%	15.9%	5.5%	46.3%	37.8%	5.0%	12.4%	4.5%	5.5%	2.0%	3.0%			
その他	19.6%	29.9%	11.3%	10.3%	47.4%	39.2%	15.5%	6.2%	53.6%	23.7%	4.1%	9.3%	2.1%	10.3%	3.1%	2.1%			

【結果】

- ・高齢になるにしたがって「ひとり暮らし」の割合が多い。
- ・「30～39歳」の層については、世帯構成が多様である。また、住みやすいと感じる人の割合が最も低い年齢層である。
- ・居住継続意向について、年齢層が上がるにしたがって、「今の場所（住所）に住み続けたい」の割合が高い。
- ・キーワードについて、「便利」は若い年齢層ほど割合が高い。一方で、「生きがい」は年齢層が高いほど割合が高い。
- ・10年後のまちについて、「子育てや教育環境が充実し、安心して子どもを育てられるまち」は若い年齢層ほど割合が高い。一方で、「医療・福祉サービスが充実し、高齢者や障がい者が生きがいを持って暮らせるまち」は年齢層が高いほど割合が高い。